

令和3年第4回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和3年4月28日（水曜日） 午後1時44分から3時39分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・井上三枝・新堀陽子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 大野仁・教育部参事 秋馬信之・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 志村憲一・学校教育課副参事 利根川典正・生涯学習課長 中條智則・高麗公民館長 大沢雅之
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	2人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・報告第2号・3号、議案第18号・19号、配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 報告第2号 専決処理について
原案どおり承認
- 報告第3号 専決処理について
原案どおり承認
- 議案第18号 日高市社会教育委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第19号 日高市就学支援委員会委員の委嘱について
原案どおり可決

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認
- 2) 教育長報告の要旨
 - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
 - その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。
- 3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨
【教育長報告関連】

- (委員) 令和3年度の新採用教員の状況はいかがか。
- (学校教育課長) 令和3年度の新採用教員は11名で、そのうち小学校が6名、中学校が5名である。現時点で各学校からは大きな問題はないと報告を受けている。
- (委員) 情報教育について、指導できる教員の状況はいかがか。
- (学校教育課長) 各学校で情報教育推進委員会を設置し情報教育主任が中心となって検討を行っている。また、市費でICT活用アドバイザーを3名採用し、各学校を巡回しながら教員の研修や情報機器の使用法の指導を行っている。今後は同委員会の更なる充実を図っていく予定である。
- (委員) 授業の中に情報機器をうまく取り入れられているか。
- (学校教育課長) 導入後の状況を見ると、子どもたちのほうが抵抗なく受け入れられており、子どもたちからの活用提案によって授業が充実するケースが見受けられる。
- (委員) どういった教科で活用しているか。
- (学校教育課長) 様々な教科で活用している。例えば体育で動画を撮影して動きを確かめたり、図工では屋外で撮影をしたものを戻って絵に描くなどしている。また、子どもたちの意見のとりまとめなどにも活用している。
- (委員) プログラミング教育はいかがか。
- (学校教育課長) 学習指導要領では、算数、理科、総合的な学習で位置付けられているが、プログラミング教育のキットがあるのでそれを活用するなどして実施している。
- (委員) 特別支援学級が増加したが、専門性のある教員が充てられているか。
- (学校教育課長) 経験年数の長い教員とそうでない教員が組めるよう人事を工夫して行っている。
- (委員) 今年度から公民館長が市の元部長級から主幹級となった。今後コミュニティスクールを推進するうえで公民館長の役割は大きいと思う。校長たちとの話し合いの中で発言しづらい状態にはならないか。
- (教育部長) 公民館以外の行政経験もあるので、そういった面での発言は行える。
- (委員) 学校単位の協働本部において意見を集約する人が必要ではないか。
- (学校教育課長) 地域学校協働本部に活動推進員というコーディネーター役を設置する予定である。学校運営協議会にも参加してもらい、地域と学校をつなぐ核となる存在として一緒に進められていければと思っている。
- (教育長) 教育指導幹が各学校の会議に参加し、アドバイザー的な役割となっている。先日も公民館長に集まってもらい指導官が中心となって研修会を実施したところである。
- (委員) コロナ禍の影響で実務が行えず、そういった所に出てくる問題が見えづらくなっている。机上で想定しているだけなので、実際に始まった時に思わぬ問題が発生する恐れがある。そうならないよう議論を活発化する必要があるので、会議を仕切る人の役割は大きいと思う。副市長に6校区の責任者になってもらうといったことも検討してもらいたい。
- (委員) 教員の働き方改革について、県内学校でのタイムカード導入率が95%と

なっているが 100%にはならないのか。

(教育長) 3自治体がまだ未導入の状況である。

(委員) 日高市は導入しているが、働き方改革につながっているか。

(学校教育課長) 毎月教育委員会に出退勤時間の報告がされており、教職員の勤務状況を把握して仕事の改善につなげている。

(教育部参事) 働き方のアンケートでは、部活動の負担感が多かった。地域の方に参加してもらう、地域部活動指導員について検討を進めていきたい。事務作業については、校務支援システムを導入したので削減につなげていきたい。

(委員) コロナ禍で研修等が減り個々の教職員の特性が見えてくる。今だから見直しを行うチャンスである。

(委員) 県では授業改善に向けてどのような取組を行っているのか。

(学校教育課長) 例えば、良い授業を撮影し共有することによって授業の改善につながるなどの取組を行っている。

(委員) ICT を活用した教育の推進について、新型コロナウイルスの変異株が広がれば、若い世代への感染力も高くなり、今後学校の臨時休業が増加する可能性がある。リモート授業が行える準備を進めたほうがよい。リモート授業は空気感が把握できず感性が育たないという弊害があると思うので工夫が必要である。ウェブカメラなどの機材を整える必要もある。

(教育部参事) 各家庭の Wifi 環境のアンケートを実施し準備を進めていく。

(教育長) 県からもリモート授業の環境を整えておくよう話があった。

(委員) 教育長からの学校経営上でお願いしたいことの中に、PTA 活動の改革といったことも含んでもらいたい。PTA 活動で来校している保護者に対して校長からの声掛けだけでもよいので配慮してくれれば理解や信頼につながると思う。

(委員) 地域とのつながりの中で、美術や技術、音楽、家庭科など専門分野を地域の得意な人と一緒に行っていくことも必要と感じる。

(委員) 現在コロナ禍のため、授業参観が行われていない。タブレット端末が全児童・生徒に配付されたので、使用している状況を動画に撮影するなどして保護者会等で見せてはいかがか。家庭の Wifi 環境の調査を行っているが、一度全家庭に持ち帰り、保護者と確認することも必要であると思う。また、保護者としては破損が心配なところもある。

(教育長) 授業参観の代替については映像等により工夫していきたい。リモート授業については、計画的に準備を進めていきたい。

(委員) 今年の報道で、リモート授業が始まったころ、子どもたちの感想が、ゲーム感覚で楽しいと言っていたものをみだが、最近では、友達に会えなくて楽しくないとの報道を見た。子どもたちの意識の変化は速いため、大人の感覚だけで進めることなく子どもたちが今何を望んでいるのかも意識して取り組んでもらいたい。

(教育長) タブレット端末を教育のツールの一つとして上手に活用して行きたい。

(委員) オリンピックの聖火リレーについては、日高市を通過する際の新型コロナウイルス感染症の対策はどうなっているか。

- (教育部長) 感染対策については JOC から指示があり、それに従って行っている。
これからの感染状況によって変わってくる。
- (委員) コロナ禍での高校受験について、生徒や保護者は不安を抱えている。早めの情報発信をお願いしたい。
- (学校教育課副参事) 様々な情報を積極的に発信していきたい。
- (委員) 中学校のチャレンジワークがコロナ禍で中止となっている。それに代わるもの、例えば地域に貢献した方の講演会などを行うことはできないか。
- (教育部参事) キャリア教育の一貫でふれあい講演会を行ってきたが、今年度の予算措置はないため、各校長には学校で工夫して行ってもらいたいと話している。
- (委員) 新任の校長や教頭だと地域の人材等がわからないため、何か資料等があればよい。
- (学校教育課副参事) 職場体験学習は子どもたちの職業観を養うために行っているが、コロナ禍のため実施できていない。各校には地域の人材の情報や資料などを提供して、違った形で職業観を養う教育を行っていきたい。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

報告第 2、3 号

【非公開のため記載せず】

議案第 18、19 号

【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○ 5 月定例会：5 月 27 日（木曜日）午後 2 時から 委員了承

○ 6 月定例会：6 月 23 日（水曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承